

図画工作科学習指導案

【題材】西洋絵画調査隊（鑑賞）

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひまわり」を模写や立体に表すなど自分なりの方法で鑑賞し、表現の特徴を理解する力 (共(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひまわり」の表現の特徴を基に自分なりの方法で鑑賞する活動を通して、表現の意図や作品の魅力を感じ取る力 (B(1)ア) ・作品に対する自分のイメージを広げる力 (共(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひまわり」を自分なりの方法で鑑賞し、表現の特徴に気付いたり、表現の意図や作品の魅力を感じ取ったりすることを楽しむ態度
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵の鑑賞において、鮮やかな色や大胆な構図など表現の特徴を見付けることができる。 ・一見して見付けられる特徴に気が付くと、他の表現の特徴に目を向けることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品や行為を見て自分のイメージをもち、言葉や文章で伝えることができている。 ・浮世絵の鑑賞において、作品に対してもった自分のイメージ、感じ取った表現の意図や作品の魅力と、表現の特徴とを、結び付けることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品や行為を見たり、感じたことを基に交流したりすることを楽しんでいる。 ・原寸大のレプリカや実物などの作品をじっくりと見た経験は少ない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・本題材で用いるヴィンセント・ファン・ゴッホの「ひまわり」は、本校図工室に展示してある作品であり、小学生に人気のある少年漫画『名探偵コナン』の劇場版のテーマになるなど、子どもたちにとって親しみのある作品である。今回は7枚ある「ひまわり」のうちの4枚目が複製された原寸大の作品を間近でじっくりと見るにより、大きさや油絵具の不透明感、筆致など、授業で子どもたちが扱う水彩絵具での表現との違いや特徴に気付ける。また身近なひまわりの花をモチーフにしているものの、種の部分が緑色であることや茎が曲がっている花があること、黄色のひまわりの周囲にある机や背景まで黄色に着色されていることなど、子どもたちの普段の表現との差から、疑問に感じる表現が見られる。そのため子どもたちは作品に対する疑問を確かめようという意識で、疑問を表現の意図や作品の魅力に捉え直しながら、自分なりの方法で「ひまわり」の鑑賞に取り組める。 ・自分なりの方法での鑑賞とは、タブレットを活用しひまわりの花や背景の色を変える、水を使わずに水彩絵の具で模写をする、粘土で絵の具の盛り上がりを表す、花が全て正面を向くように立体に表すなどの方法である。一見して気が付いた表現の特徴や感じ取った疑問について、自分の手や感覚を働かせて体験することで、自分の見方や感じ方を深めて作品と関わり、表現の意図や作品の魅力を楽しむことができる。 ・表現の特徴を基に自分なりの方法での鑑賞を試すことにより、表現の特徴が明確になり、表現の意図が誇張されるため、絵を一見しただけでは見付けられなかった表現の特徴を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの方法での鑑賞を試すことにより、自分のイメージを広げられるため、表現の特徴と作品に込められた表現の意図や作品の魅力を感じ取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの方法での鑑賞を試すことにより、理解した表現の特徴や自分のイメージ、感じ取った表現の意図や作品の魅力について、友達との交流を楽しむ。
見方・考え方	<p>「ひまわり」を表現の特徴で捉え、自分なりの方法で鑑賞しながら表現の意図や作品の魅力を感じ取っている。</p>		
今後の学習	<p>中学校での鑑賞の学習へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	「ひまわり」の表現の特徴に着目しながら自分なりの方法で鑑賞をすることにより、表現の意図や作品の魅力を感じ取る。		
評価 規準	(①知・技) 自分なりの方法で鑑賞することで、表現の特徴を理解できている。 (②思・判・表) 表現の特徴を基に自分なりの方法で鑑賞することで、自分のイメージを広げ、表現の意図や作品の魅力感じ取っている。 (③主体的態度) 自分なりの方法で鑑賞したり、表現の特徴や、感じ取った表現や意図や作品の魅力について交流したりすることを楽しんでいる。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	1	○学芸員のギャラリートークの動画を見てギャラリートークについて知り、フィンセント・ファン・ゴッホの「ひまわり」を見て、自分のイメージをもつ。 ─ 学習のめあて ─ 自分なりの方法でゴッホの「ひまわり」を調査し、見つけた魅力をギャラリートークで発表し合おう	○着目する点によって鑑賞する対象を選択できるように、細かい部分を拡大して見られる写真データをロイロノートに配付したり、大きさや全体のバランスを見られる原寸大の作品を展示したりする。
あらわす・ひろげる	4	○自分なりの方法で、「ひまわり」を鑑賞する。(本時3/4)	○作品のイメージを広げ、表現の意図や作品の魅力を感じ取れるように、交流しながら活動できるグループを設定する。 ○自分なりの方法を繰り返し試行できるよう、材料や用具を十分に用意する。
ふりかえる	1	○感じ取った表現の意図や作品の魅力について発表し合ったり、自分の取組みを振り返ったりする。	○全てのグループが感じ取った表現の意図や作品の魅力を共有したり、自分自身の取組みじっくりと振り返ったりできるよう、活動時間を十分に確保する。
			評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 ◇表現の特徴から、作品に対する自分のイメージや疑問をもち、文章に表したり友達と話したりしている。 <行動・ロイロノート③> ◇表現の特徴から感じた疑問を基に自分なりの方法で鑑賞をしたり、広げた自分のイメージや感じ取った表現の意図や作品の魅力について友達と話したりしている。 <行動・ロイロノート①②③> ◇自分なり方法で鑑賞し感じ取った表現の意図や作品の魅力について、表現の特徴を基に広げたイメージを根拠に友達と話している。 <行動・ロイロノート①②③>

本時の学習（4／6時間目）

ねらい 表現の特徴を基に模写や立体に表すことで、見るだけでは気が付かなかった表現の意図や作品の魅力を感じ取ることができる。
 評価項目 表現の特徴を基に自分なりの方法で鑑賞をしたり、広げた自分のイメージや感じ取った表現の意図、作品の魅力について友達と話したりして
 いる。
 <行動・ロイロノート①②③>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は粘土でひまわりをつくってみたけれど、茎のぐにゃぐにゃした感じや萎れた花を再現することに苦戦したのだったな。 ・前の時間に同じグループの友達は段ボールを用いて、たくさんのひまわりが入る大きい花瓶をつくっていたのだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・前回つくった粘土のひまわりを、向きや角度にこだわって花瓶にさしてみたら、ゴッホが正面を向いた美しい花を描かなかった理由を確かめられるかもしれないぞ。 (目的意識) </div> <p>めあて：自分なりの方法で「ひまわり」を鑑賞し、作者の意図や作品の魅力を感じ取ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動の見通しをもてるように、自分の感じ取った表現の意図や作品の魅力、解決していない疑問について友達と話したり、自分なりの方法で鑑賞した記録写真を見たりしながら、前回の活動を振り返るよう促す。 ○本時の活動の流れをグループで共有できるように、前時の活動を基に、本時で解決したい疑問に対して必要な活動について問いかける。
<p>2 自分なりの方法で「ひまわり」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がつくった花瓶にひまわりをさしてみたけれど、ひまわりの向きや角度が安定しないな。ゴッホの絵にあるひまわりは安定して見えるから、近付けるためにはどうしたらよいだらう。 ・花瓶の口がいっぱいになって安定するように、絵には見えていない裏側にも、ひまわりがあるのかもしれないな。友達に相談してみよう。 ・友達は茎の長いひまわりの花を、手前に傾けて飾っているように見えると言っていたな。 ・確かに絵をよく見ても、裏側に茎や花弁の一部は見当たらないから、隙間が開いているだけかもしれないな。花瓶に斜めにさしてみよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの向きや角度にこだわって花瓶にさしてみたら、花瓶の口に隙間があることに気付いたぞ。萎れたひまわりの花の様子や花瓶の隙間はゴッホの心のさみしさを表現しているのかもしれないな。 (目的を達成した意識) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○「ひまわり」の表現の特徴に気付けるように、作品と自分なりの方法で鑑賞したものを比べながら活動するよう促す。 ○表現の意図や作品の魅力を感じ取れるように、自分なりの方法で鑑賞しながら、理解した表現の特徴や広げたイメージについて友達と話そう促す。 ○自分なりにイメージを広げながら表現の意図や作品の魅力を感じ取れるように、作品に描かれていない部分の様子について想像している児童の様子や考えを共有する。 ○表現の特徴を基にしていれば、自分のイメージや感じ取った表現の意図、作品の魅力が1人ひとり異なっていて良いことが伝わるように、さまざまな捉え方をしている児童の考えを紹介する。 ○自分のイメージを広げられるように、材料や用具を工夫して繰り返し自分なりの方法での鑑賞を試すことや、交流しながら活動できる場所を確保するよう促す。 ○表現の特徴と、自分のイメージや感じ取った表現の意図、作品の魅力を結びつけて考えられるように、感じ取った意図や魅力とその根拠について問いかける。
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土やダンボールでひまわりの花や花瓶をつくって飾ってみたら、絵を見るよりも細かいところまで作品を鑑賞して、表現の意図や作品の魅力を感じ取ることができた。 ・次回は花瓶を置く台や背景に注目して、もっと「ひまわり」に込められた表現の意図や作品の魅力感じ取りたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時に理解した表現の特徴や、感じ取った表現の意図や作品の魅力を蓄積できるように、活動の様子の記録写真と感じ取った表現の意図や作品の魅力について、ロイロノートにまとめて提出するよう促す。 ○次回の活動に見通しをもてるように、本時の活動から次時につなげていきたいことを問いかける。